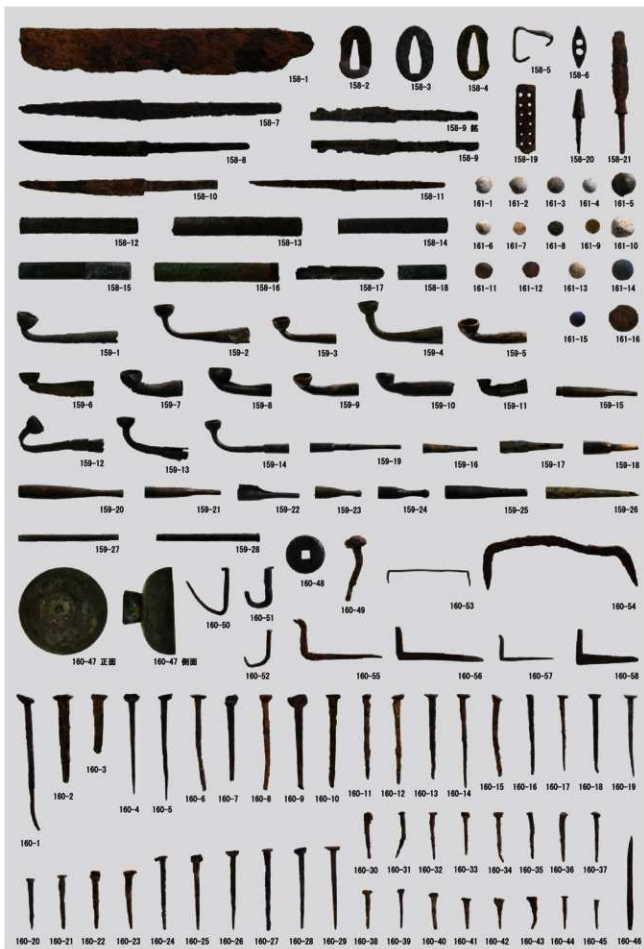




木筒・墨書・下駄



武器・武器・煙管・釘類







バンドコ（行火）・容器類・砥石



碇・石塔類・碇石・その他



報 告 書 抄 録

ふりがな	ふくいじょうあと							
書名	福井城跡							
副書名	北陸新幹線福井駅部建設事業に伴う発掘調査							
巻次	福井県埋蔵文化財調査報告 第109集							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編集者名	御嶽貞義							
著者名	本多達哉 河村健史 青木隆佳 御嶽貞義 野路昌嗣 釘谷 紀 丸山真史							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL0776-41-3644							
発行年月日	西暦2009年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
福井城跡	福井県 福井市 おおて 大手1丁目 ほうえい 宝永1丁目	18201	01141	36° 3′ 31″ ～ 36° 3′ 49″	136° 13′ 34″ ～ 136° 13′ 55″	平成17年 8月22日 ～ 平成18年 9月29日	8380 (表面積)	北陸新幹線 福井駅部建 設事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
福井城跡	城郭 城下町 集落	近世 中世 古代	石垣・堀・井戸・廃 棄土坑・園池など		土器・陶磁器・漆器 ・木製品・石製品・ 金属製品・鍛冶関連 遺物など		検出した複数の 武家屋敷地の中に、 屋敷内庭園(園池) を確認。 北側の園池は、小 さいながらも、池の 縁や底に川原石を 敷き詰め、州浜状に 整備される。 南側の園池は、平 成8～10年度調査 のFKJ96-4 地区に て検出した池の東 側に接続。ほぼ全景 が確認できた。	
要 約	北陸新幹線福井駅舎および高架部分の建設にかかる延長約800mの細長い範囲での調査。調査地は、福井城百間堀南東に位置する曲輪の「中ノ馬場」地区から、百間堀にかかる三崎門へと続く土橋・北入分門付近(「(元)割場」地区)、城郭北東に展開する外曲輪(東総構地区)を経由し、外堀に到る部分に当たる。十数軒分となる武家屋敷地を確認したが、調査地が狭長であり、今回の調査のみで全様の確認される屋敷地はなかった。しかし、JR 福井駅高架化や駅周辺再開発に伴う調査の結果を合わせることで、中ノ馬場地区を中心とする比較的広い範囲の様相が確認されることとなる。							